



岡山県原水協通信

2012年7月19日 No227
原水爆禁止岡山県協議会
700-0981 岡山市北区西島田町4-25
TEL086-244-4526 (F)805-6172
kenmin@po5.oninet.ne.jp

子どもたちに平和な未来を

平和行進岡山県内行進3日目は岡山市東区役所から岡山県庁までのコースです。午前9時半140人は元気に出発。この日の昼食休憩は岡山藩主池田家の菩提寺「曹源寺」でした。午後に出発に際し副住職が激励の挨拶をくださいました。東山の岡山市原爆死没者慰霊塔の前では岡山市被爆者会の皆さんが行進団を出迎えてくださり、行進参加者は線香を手向け核兵器廃絶を誓いました。

岡山協立病院前では協立保育園の子どもたち14人が通し行進者に折り鶴のレイをプレゼント。全国通しの渡邊さんが「子どもたちに核兵器のない平和な世界を引き渡したい」とお礼の挨拶を行いました。(右・協立病院前で子どもたちから歓迎)



平和七夕の下 元気に行進



県内行進4日目の7月19日は県庁一岡山市役所間の行進です。

出発に際し県総務学事課福田課長は「核兵器廃絶を願う皆さんの行動は意義深いものです。いまなお2万発の核兵器があり、平和の大切さを認識しています。」と行進団を激励されました。

午前中は岡山市内の中心商店街を元気に行進。折から「平和七夕まつり」の折鶴が飾られた下を「核兵器をなくしましょう」「原発はいりません」とアピールしながら歩きました。

11時からオルガホールで被爆証言を聞く集いを行い、岡山市被爆者会の大倉満子さんから生々しい原爆直後の広島市の町の様子をききました。

(右・平和七夕の下をいく行進団 7/19)



忘れられない臭い

大倉満子さん(84)証言

1945年の岡山空襲を体験し、呉の嫁ぎ先から被爆直後の広島市に父と姉の安否を尋ねて入市、舟入町までの町の様子を生々しく語られました。「あの臭い、血の色、忘れられません。3度の流産も経験しました」と悲しい体験を話してくださいました。



写真説明・上、東山の岡山市原爆死没者慰霊碑におまいりする行進団。中、岡山県原爆慰霊碑に参拝した全国・県通し行進者。下、西大寺にある原爆死没者慰霊碑に参拝した行進者。いずれも7月18日。